

水資源開発の完了と創設100周年

■水資源開発の完了

福岡市は、創設以来、水源地域・流域の皆さまのご理解とご協力を得ながら、19回にも及ぶ拡張事業により、水需要の増大に対処してきましたが、令和3（2021）年1月の五ヶ山ダム完成をもって、計画していた全ての水資源開発を完了しました。五ヶ山ダムは、昭和53（1978）年の大渇水を契機に、渇水対策容量を持つダムとして日本で最初に計画されました。福岡県内最大の貯水量を誇り、福岡市関連ダムの水道などに使える容量がこれまでの約1.7倍になり、水の安定供給に寄与するとともに、昭和53年や平成6（1994）年のような異常渇水時にも、市民生活等への影響を大幅に緩和できるようになりました。

■創設100周年

福岡市の水道事業は令和5（2023）年3月で創設100周年を迎えます。かつて先人たちが将来を見据えて近代水道を整備して100年。この限りある水資源を有効利用するため、水管理センターの配水調整システムの運用や漏水調査の実施、配水管の計画的な更新に取り組むとともに、節水への市民の協力を得ながら「節水型都市づくり」を進めてきました。福岡市は、新たな100年に向けて、安全で良質な水道水を安定的に供給し続ける持続可能な水道事業の構築を目指して歩み続けていきます。



五ヶ山ダム
(平成30年3月 福岡県撮影)

年表

「水資源開発の完了と創設100周年」 平成7年～平成15年

- 平成7（1995）年 295日間に及ぶ給水制限解除
7月5日に渇水対策本部を解散
- 平成9（1997）年 福岡市水道水源かん養事業基金設置
- 平成13（2001）年 猪野ダム完成
- 平成14（2002）年 鳴淵ダム完成
(福岡地区水道企業団関連)
- 平成15（2003）年 「福岡市節水推進条例」施行



五ヶ山ダム竣工式



海の中道奈多海水淡水化センター(施設内部)



曲淵水源祭(令和4年度)



市有形文化財指定の碑
(曲淵ダム・平尾浄水場跡)